

平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年7月8日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 大  
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟橋 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) (03) 3316-1911  
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の業績（平成23年3月1日～平成23年5月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	9,577	△10.2	416	—	418	—	△240	—
23年2月期第1四半期	10,663	△16.8	△148	—	△86	—	△444	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	△15.44	—
23年2月期第1四半期	△28.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	26,303	12,042	45.8	772.26
23年2月期	27,501	12,439	45.2	797.69

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 12,042百万円 23年2月期 12,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 (累計)	17,960	△12.3	△241	—	△177	—	△1,082	—	△69.43	
通 期	37,000	△12.8	326	—	470	—	△650	—	△41.72	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期1Q	15,597,638株	23年2月期	15,597,638株
24年2月期1Q	3,308株	23年2月期	3,308株
24年2月期1Q	15,594,330株	23年2月期1Q	15,594,505株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
【第1四半期累計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 「参考資料」	11
商品別売上高の状況	11

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間(平成23年3月1日～平成23年5月31日)における我が国経済は、東日本大震災及び福島原発事故などの影響により、厳しい景況感の中で推移いたしました。

カジュアル衣料品の分野におきましても、震災直後には消費支出が落ち込んで販売が低迷し、その後買い控えの反動による一時的な回復も見られたものの、先行きが非常に不透明であることから総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社は、震災後の通常営業への復旧が最大の地域貢献であると考えて、被災店舗の一刻も早い立ち上げに全力を挙げるとともに、全店で立地特性に見合った商品構成への軌道修正を行い、お客さまのニーズに合った商品を、各店舗でお客さまにわかりやすく提供することに努めてまいりました。また、TVCMの実施、フリーマガジンの配布などにて積極的な集客も図り、併せてレジ袋デザインの一新、エコ活動に配慮した下取り活動の継続等、新たな顧客層を開拓する諸施策を実施し売上高回復に努めました。

一方、客単価は前年対比上昇したものの、客数が伸び悩んだため、当第1四半期会計期間の既存店舗売上高は前年同四半期比5.5%の減少となりましたが、前期通期の既存店舗売上高の減少幅10.4%との比較では4.9ポイント改善いたしました。

商品動向としましては、メンズ・レディースの非デニム・イージーパンツが堅調に推移し、またバッグ等服飾雑貨が大きく伸びた一方で、ジーンズは引き続き不振でした。

また、効率的な出退店に加え販売費及び一般管理費の戦略的コントロールに努め、お客さまの立場に立ち、お客さまの目線で経費の見直しを行った結果、販管費を前年同四半期比16.3%削減いたしました。

店舗の状況につきましては、新規出店3店舗、退店6店舗により、当第1四半期会計期間末店舗数は516店舗(前年同四半期比26店舗減少)となりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間における売上高は9,577百万円(前年同四半期比10.2%減)、売上総利益率の前年同四半期比2.6ポイントの改善及び販管費の削減によって、営業利益は416百万円(前年同四半期は営業損失148百万円)、経常利益は418百万円(前年同四半期は経常損失86百万円)と黒字を計上いたしました。また、最終損益につきましては、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を505百万円計上したこともあり、四半期純損失は240百万円(前年同四半期は四半期純損失444百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,197百万円減少し、26,303百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,097百万円減少し、18,217百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,685百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ99百万円減少し、8,085百万円となりました。これは主に閉店により敷金及び保証金が205百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ801百万円減少し、14,261百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,463百万円減少し、10,469百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が622百万円、ファクタリング債務が631百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ662百万円増加し、3,791百万円となりました。これは主に資産除去債務が659百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ396百万円減少し、12,042百万円となりました。

これは主に四半期純損失を240百万円計上したことや剰余金の配当155百万円などによるものであり、総資産に占める自己資本比率は45.8%となり前事業年度末に比べ0.6ポイント増となりました。

(1株当たり純資産額)

当第1四半期会計期間末における1株当たり純資産額は772円26銭となり前事業年度末に比べ25円43銭の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は投資活動はプラスとなりましたが、営業活動及び財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなり、資金は前事業年度末に比べ2,685百万円減少し、6,833百万円となりました。

また当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果支出した資金は、2,567百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額1,230百万円、仕入債務の減少額1,252百万円を計上したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られた資金は、68百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得により44百万円支出した一方で、敷金及び保証金の回収による収入が124百万円増加したこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、185百万円となりました。

これは主に割賦債務の返済による支出29百万円及び配当金の支払額155百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月20日に公表いたしました、「平成24年2月期業績予想に関するお知らせ」に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより営業利益、経常利益がそれぞれ5百万円減少し、税引前四半期純損失は511百万円増加しております。また当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は676百万円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,242	10,927
売掛金	824	455
商品	8,675	7,445
前渡金	5	6
前払費用	432	443
その他	36	37
流動資産合計	18,217	19,315
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	183	186
建物附属設備(純額)	666	552
構築物(純額)	47	46
工具、器具及び備品(純額)	71	60
土地	238	238
建設仮勘定	—	0
有形固定資産合計	1,208	1,086
無形固定資産		
借地権	106	106
ソフトウェア	3	—
無形固定資産合計	109	106
投資その他の資産		
出資金	0	0
長期前払費用	224	230
敷金及び保証金	6,528	6,733
破産更生債権等	7	7
その他	64	67
貸倒引当金	△57	△47
投資その他の資産合計	6,767	6,993
固定資産合計	8,085	8,185
資産合計	26,303	27,501

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,527	6,149
ファクタリング債務	2,705	3,336
未払金	309	523
未払法人税等	62	133
未払消費税等	27	2
未払費用	858	768
預り金	9	9
前受収益	34	33
賞与引当金	144	80
店舗閉鎖損失引当金	279	344
リース資産減損勘定	481	509
リース債務	2	2
資産除去債務	10	—
その他	15	39
流動負債合計	10,469	11,932
固定負債		
長期末払金	348	330
退職給付引当金	1,399	1,416
役員退職慰労引当金	125	122
転貸損失引当金	244	202
長期預り保証金	215	198
長期リース資産減損勘定	732	833
リース債務	5	6
資産除去債務	659	—
繰延税金負債	61	19
固定負債合計	3,791	3,129
負債合計	14,261	15,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	5,130	5,527
自己株式	△5	△5
株主資本合計	12,042	12,439
純資産合計	12,042	12,439
負債純資産合計	26,303	27,501

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	10,663	9,577
売上原価	5,829	4,989
売上総利益	4,833	4,587
販売費及び一般管理費	4,981	4,171
営業利益又は営業損失(△)	△148	416
営業外収益		
受取利息	6	5
受取家賃	77	99
受取手数料	39	28
雑収入	9	16
営業外収益合計	134	149
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	69	94
転貸損失引当金繰入額	—	49
雑損失	1	2
営業外費用合計	72	148
経常利益又は経常損失(△)	△86	418
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	15	0
店舗閉鎖損失	6	—
減損損失	248	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	505
災害による損失	—	17
店舗閉鎖損失引当金繰入額	45	—
特別損失合計	316	569
税引前四半期純損失(△)	△393	△151
法人税、住民税及び事業税	51	47
法人税等調整額	△0	42
法人税等合計	51	89
四半期純損失(△)	△444	△240

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△393	△151
減価償却費	67	41
減損損失	248	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	505
災害損失	—	17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	40	64
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	10
受取利息及び受取配当金	△6	△5
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6	42
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△7	△65
支払利息	1	1
賃借料との相殺による保証金返還額	103	88
売上債権の増減額(△は増加)	△338	△369
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,160	△1,230
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,215	△1,252
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	2
固定資産除却損	15	0
店舗閉鎖損失	6	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27	24
その他	35	△252
小計	△3,599	△2,497
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△69	△68
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,668</b>	<b>△2,567</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2	△44
敷金及び保証金の差入による支出	△40	△11
敷金及び保証金の回収による収入	100	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	57	68
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△155	△155
リース債務の返済による支出	△0	△0
割賦債務の返済による支出	△20	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177	△185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,789	△2,685
現金及び現金同等物の期首残高	10,612	9,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,823	6,833

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第1四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日）

当社は衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日	当第1四半期累計期間 自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズアウター	396百万円	303百万円	76.4%	△93百万円
メンズインナー	2,674百万円	2,369百万円	88.6%	△305百万円
メンズボトムス	2,055百万円	1,862百万円	90.6%	△193百万円
レディース	3,275百万円	2,811百万円	85.8%	△464百万円
その他	2,259百万円	2,230百万円	98.7%	△29百万円
合計	10,663百万円	9,577百万円	89.8%	△1,085百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。